

科目 No.58

分野	専門分野	科目	精神看護学：精神看護の概論		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	2 年前期
講師名	藤松正行	所属および実務経験	専任教員 / 医療機関において看護師として勤務		
	畝地祥治		地域活動支援センター心の春希望/ 精神保健福祉士		
	松本和奈		福岡保養院/公認心理師		
	井上 直樹		筥松病院/作業療法士		
【科目のねらい】 現代社会における生活を営む上での視点から、人間の成長発達、精神の健康段階、人間関係、生活の場と環境の関係性を学び、精神を病む危険性は誰にでもあることを理解し、精神医療・看護の歴史の変遷、倫理と人権の学習を踏まえ精神看護の基本的な考え方、役割を学んでいきたいと思います。					
【目的】精神看護の基本的な概念、理論、歴史の変遷、治療について理解し、こころの健康および障害のある人への看護の基礎を養う。 【到達目標】 1. こころの健康保持・増進について説明することができる。 2. 精神障がい者の処遇と医療、看護の歴史を学び現在の問題点と今後の展望について説明することができる。 3. 精神看護の対象及び看護の特徴、患者の思いについて説明することができる。 4. プロセスレコードを理解し、自己洞察、患者—看護師関係についてのアセスメントの重要性を説明することができる。					
【DPとの関連】 DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。 DP2 看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。 DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。					
【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）					
回	学習内容		方法	備考	
1	・「心のケア」と日本社会 ・精神障害をもつ人の病いの体験と精神看護		講義 演習 ポストテスト	畝地祥治	
2	・精神看護の課題 ・精神看護学とは何か			藤松正行	
3	・精神の健康とは ・心身の健康に及ぼすストレスの影響 ・コーピング ・精神的安寧を保つためのケア		講義 演習		
4	・心的外傷（トラウマ）と回復 ・レジリエンス ・精神障害という考え方 ・3つの予防概念		講義 ポストテスト		
5	・精神障害という考え方 ・心の理論 ・エリクソン ・ポウルビー・コフォート ・トラベル ビー 人間対人間の関係モデル ・ペプロウ 人間関係の看護論 ・オレム セルフケ		講義 演習		
6	ア理論 ・ピアジェ 発生的認識論				
7	・システムとしての人間関係 ・全体としての家族 ・人間と集団		講義 ポストテスト		
8	・精神障害と治療の歴史 ・日本における精神医学、精神医療の流れ		講義 ポストテスト		
9	・精神障害と文化 ・精神障害と社会学				
10	医療の場におけるメンタルヘルスと看護		講義		
11	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス バーンアウトシンドローム		講義 ポストテスト		
12	プロセスレコード		講義 演習		
13			ポストテスト		
14	・心理検査 ・精神療法 ・個人療法 ・集団精神療法 ・家族療法 ・SST の体験 ・さまざまな回復のためのプログラム ・心身の健康に及ぼすストレスの影響、心的外傷（トラウマ）		講義 演習		
15	・回復の意味 ・リカバリーのビジョン		講義 演習	井上 直樹	

	・環境療法 社会療法		
	試験		
<p>【準備学習内容】</p> <p>テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習をふまえて授業は進んでいきます。</p> <p>重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。</p> <p>心の問題に関するニュースに関心を示し、1 回目の授業に持参してください。心の問題と、当事者の体験を聞き、精神看護とは何か、ディスカッションできるよう、問題点や課題について調べておきましょう。</p> <p>3 回目までに「精神的安寧を保つためのケア」についてこれまでの学習を踏まえ根拠も含めて考えレポートし持参する。</p> <p>5 回目～6 回目の学習内容に掲載されている理論家全てを図書室の本やテキストで調べ、事前にレポートにまとめておきましょう。課題レポートは、授業後提出となります。</p> <p>12 回目の授業終了後、自宅でプロセスレコードを記載し、13 回目を持参して下さい。プロセスレコードは授業終了後、提出となります。</p> <p>動画視聴：</p> <p>1 回目は目で見える精神看護（第 2 版） 精神科医療と福祉の現状 目で見える精神看護（第 2 版） 病院から地域社会へ 知っておきたい社会資源 を視聴し、講義を受講しましょう</p>			
<p>【使用するテキスト】</p> <p>武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 2023</p> <p>武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院 2023</p> <p>城ヶ端初子著 実践に活かす 看護理論 サイオ出版 2020</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健 第 6 版 メヂカルフレンド社 2021</p> <p>岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 第 6 版 メヂカルフレンド社 2021</p> <p>山本勝則他編著 看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術 第 2 版 メヂカルフレンド社 2015</p> <p>ニュートン別冊 精神科医が語る精神の病気 ニュートンプレス 2019</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>授業終了時のポストテスト（21 点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（35 点）、筆記試験(44 点)</p> <p>課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。</p> <p>到達レベル 演習Ⅰ：精神的安寧を保つためのケア</p> <p>到達度の確認は、以下のいずれかで行う。詳細は別紙参照。</p> <p>演習中の技術確認、チェックリストを活用したグループ学習の自己評価と他者評価の提出</p>			
<p>【受講上の注意】</p> <p>現代社会は、心の健康問題を抱える人が多くなります。皆さんと同じ世代でも起こっている悲しい事件もあります。自然災害によって心の傷を負っている人も少なからずいます。そういう現実を目を向けると、精神的看護の需要が高まっています。看護師として基盤となる、精神的看護は重要です。だからこそ真剣に受講し、主体的に学んでください。事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。</p>			

科目 No.59

分野	専門分野	科目	精神看護学：精神看護の方法Ⅰ				
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間(15 回)	配当時期	2 年前期		
講師名	山本勝也	所属および実務経験	医療法人緑心会 福岡保養院 師長／看護師				
	松岡剛史		医療法人緑心会 福岡保養院 副師長／看護師				
	入江正光		セノーテ訪問看護ステーション所長／精神看護専門看護師				
【科目のねらい】 精神障がい者のもつ疾患からくる生活のしづらさに焦点をあて、そこで必要な看護、具体的技術について学びます。精神における治療場面での患者－看護師関係の構築の仕方、治療的関わりを形成するための対人関係の技術を学びます。また、地域の精神疾患患者が、その人らしく生活するための看護を法律も含め学びましょう。							
【目的】主な精神症状のある対象への看護や心の健康維持を看護の場の違いから理解し、こころのケア（精神看護）の基礎を養う。							
【到達目標】 1. 治療的人間関係について説明することができる。 2. 安全を守るための病棟環境、人権を守りながら治療のための行動制限について説明することができる。 3. 主な精神症状に対する看護を説明することができる。 4. 精神障がい者が地域で、その人らしく生活するための支援について説明することができる。							
【DPとの関連】 DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。 DP3 対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。 DP4 対象のQOL（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。 DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。							
【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）							
回	学習内容		方法	備考			
1	ケアの人間関係 ・ケアの前提 ・ケアの原則 ・ケアの方法		講義 ポストテスト	山本勝也			
2	・患者－看護師関係における感情体験 ・関係の視点からみた困難事例 ・チームのダイナミクス						
3	・回復の意味 ・リハビリのビジョン ・ストレングスモデル ・治療の場におけるリハビリの試みと看護の視点 ・リハビリを促す環境 ・リハビリのプロセス		講義				
4	・精神科病棟における安全管理 ・病棟環境の整備 自殺・自殺企図・自傷行為		講義 ポストテスト				
5	・離院 ・隔離身体拘束 ・抑制体験		講義 演習				
6	主な疾患症状に対する看護 統合失調症 妄想性障害 双極性障害 うつ病 アルコール依存症 認知症		講義 ポストテスト				
7	・障がいを持つ子どもへの看護						
8	自閉スペクトラム障害 注意欠如・多動性障害 強迫性障害 神経性やせ症摂食制限型						
9	入院治療の意味 ・精神科を受診すること ・治療の器としての病院・病棟 ・入院中の観察とアセスメント		講義 ポストテスト			松岡剛史	
10	・ケアの方向性を考える ・退院に向けての支援とその実際						
11	・身体をケアする ・精神科における身体のケア ・精神科における身体を通した看護ケアの実際		講義 ポストテスト 演習				
12	・精神科の治療に伴う身体のケア ・薬物療法を受ける患者のケア ・身体合併症のケア						
13	・メンタルケア ・精神科における終末期ケア						
14	・地域におけるケアと支援 ・「器」としての地域 ・地域における生活支援の方法 ・地域におけるケアの方法と実際 ・学校におけるメンタルヘルスと看護 ・職場におけるメンタルヘルスと精神看護		講義 ポストテスト 演習				
15							

	試験		
<p>【準備学習内容】</p> <p>疾病と治療Ⅴや社会保障・社会福祉と連携の学習を活用できるように復習しておきましょう。</p> <p>テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。</p> <p>重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。</p> <p>5 回目演習の後に自身の考えをまとめたレポート提出があります。13・15 回目にグループディスカッションしていきます。課題レポートは授業終了後に提出となります。</p> <p>4 回目～8 回目、11 回目～13 回目の講義内容は実習に直接活かされる内容です。授業前に余白を開けてルーズリーフにまとめておきましょう。授業後、さらに余白に追加し実習前に提出してください。</p> <p>動画視聴：</p> <p>1 回目は精神疾患・障害の基礎知識 02 今日の精神科医療を視聴し、講義を受講しましょう。</p> <p>6～8 回目までに精神疾患・障害の基礎知識</p> <p>01 精神機能と障害、03 統合失調症、04 うつ病 双極性障害、05 不安症 強迫症、06 物質依存症、07 認知症</p> <p>08 児童の精神障害 発達障害、09 青年期の精神障害、10 睡眠障害 を視聴し、講義を受講しましょう。</p>			
<p>【使用するテキスト】</p> <p>武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 2023</p> <p>武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院 2023</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健 第6版 メヂカルフレンド社 2021</p> <p>岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 第6版 メヂカルフレンド社 2021</p> <p>山本勝則他編著 看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術 第2版 メヂカルフレンド社 2015</p> <p>ニュートン別冊 精神科医が語る精神の病気 ニュートンプレス 2019</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>授業終了時のポストテスト（39点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（15点）、筆記試験（46点）</p>			
<p>【受講上の注意】</p> <p>実習で活用できる具体的な内容を学べます。予習復習でノートをまとめておくと、実習にも役立ちますので、主体的に授業に参加してください。</p> <p>事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。</p>			

科目 No.60

分野	専門分野	科目	精神看護学：精神看護の方法Ⅱ		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間(15 回)	配当時期	2 年後期
講師名	藤松正行	所属および実務経験	専任教員 / 医療機関において看護師として勤務		
	畝地祥治		地域活動支援センター心の春希望/ 精神保健福祉士		
<p>【科目のねらい】</p> <p>精神看護の概論、精神看護の方法Ⅰの知識を統合し、看護事例を看護過程展開し、実践します。また、精神福祉の社会資源について学んだが、実際福岡の地域ではどのような支援がなされているのか、実際に行って調べてみましょう。地域の特性、個別の状態によって支援が違うということを体験してみましょう。</p>					
<p>【目的】精神疾患及び精神症状のある患者への看護の理解、及び精神における社会資源の活用や多職種連携について学び、精神看護を実践する基礎を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科における安全を守るための具体的対策を説明することができる。 2. 災害時のメンタルヘルスの支援について説明することができる。 3. ストレンクスやリカバリーに着目した看護を実践することができる。 4. 地域で生活するための支援や多職種連携の実際を調べ、説明し、全員で共有することができる。 5. 当事者の気持ちを知り、授業で学んだことも含め、自分の看護観を表現することができる。 					
<p>【DPとの関連】</p> <p>DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。畝</p> <p>DP2 看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。</p> <p>DP3 対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。</p> <p>DP4 対象のQOL（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。</p> <p>DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。</p> <p>DP6 心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。</p>					
<p>【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）</p>					
回	学習内容		方法	備考	
1	フィールドワーク 福岡市で行われている精神疾患患者、家族、地域住民に対する支援		演習	藤松正行	
2	（自分達が調べたい内容を 当事者 施設や市役所 訪問看護センター 公民館、 区役所、民生委員 作業所などに行き調べる） 発表のための準備			畝地祥治	
3	フィールドワークの発表			藤松正行	
4	・うつ病患者の自殺願望のある患者の看護 ロールプレイ ・精神的安寧を保つためのケア、コミュニケーション ・対象の状況や症状に対応したコミュニケーション ・傾聴技術		演習 講義 ポストテスト	藤松正行	
5	・ゲートキーパー養成講座（自殺予防） 出前授業 60分 ・精神的安寧を保つためのケア ・教員によるまとめ		講義		
6	・安全をまもるための行動制限について 賛成か反対か		演習		
7	ディベートのための調べ学習に 市立図書館、 精神保健センターなど行ってよい 発表後、ZOOMにて保養院の看護師とつなぎコメントをもらう。				
8	・災害時のメンタルヘルスと看護		演習		
9			講義 ポストテスト		

10	・実習で活かす看護論 ・オレムアンダーウッドモデル ・ストレングスモデル ・メンタルステータス イグザミネーション 精神科で使用する主な看護診断 ・記録用紙説明	講義 ポストテスト	
11	・統合失調症 事例展開 情報収集 ・情報収集は模擬患者にて行う ・対象の状況や症状に対応したコミュニケーション	演習	
12	・統合失調症 事例展開 看護計画 ロールプレイに向け演習	演習	
13	実施 評価 (ロールプレイ) 対象の状況やアセスメント病状に対応したコミュニケーション	演習	
14	実施後のプロセスレコード発表 リフレクション	演習 講義	
15	看護観発表 授業のまとめ	演習	藤松正行
	試験		

【準備学習内容】

テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。

重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。

1 回目～3 回目は、フィールドワークです。動く前に、社会人としてどのような電話対応、服装、内容を実践するのか事前に計画書を提出してください。計画書の用紙は様式を教材倉庫に提示しています。ガイドを確認し記載をお願いします。

4 回目～5 回目は、うつ病患者の看護の授業資料を持参し予習しておきましょう。5 回目の講座で学んだことでの課題レポートの提出をしてください。ゲートキーパー養成講座後に受講終了証を授与されます。

6 回目～7 回目は、ディベートのためのまとめた個人の資料レポートは提出となります。

8 回目までに、災害時の精神的ケアに関して災害が人々にストレスをもたらす要因にはどのようなものがあるかレポートにまとめ、授業時、持参して下さい。個人で学習した内容は授業終了後、提出となります。

11 回目は、事前に自宅で統合失調症の患者の看護について学習しておき、講義資料を持参しておきましょう。授業終了後、情報収集・アセスメント・看護計画の続きは自己学習の時間を活用しましょう。

12 回目は、事前に自宅で個人ワークをしておきましょう。

13 回目は、授業終了後、実施・評価・プロセスレコードの課題は自己学習の時間を活用しましょう。

15 回目は、看護観の発表及び提出となります。

課題の提出日はその都度提示します。課題は自己学習の時間を活用して計画的に行いましょう。

動画視聴：

4 回目は精神疾患・障害の基礎知識 04 うつ病 双極性障害を視聴し受講するようにしましょう

11 回目は目で見える精神看護（第2版） 精神看護実習 患者とのコミュニケーションのポイント
ライフヒストリー 統合失調症を 視聴し受講するようにしましょう。

【使用するテキスト】

武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 2023

武井麻子他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院 2023

【参考文献】

岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健 第5版 メヂカルフレンド社 2019

岩崎弥生他著 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 第5版 メヂカルフレンド社 2019

武藤教志著 他科に誇れる精神科看護の専門技術 MENTAL STATUS EXAMINATION 1 精神看護出版 2019

武藤教志著 他科に誇れる精神科看護の専門技術 MENTAL STATUS EXAMINATION 2 精神看護出版 2019

ニュートン別冊 精神科医が語る精神の病気 ニュートンプレス 2019

【評価方法】

ポストテスト（9点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（35点）、筆記試験（56点）

課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。

精神的安寧を保つためのケア・コミュニケーションは、動画撮影と患者役からの評価にて、自己評価しましょう。

【受講上の注意】

実習に関係する看護過程を行います。実習で活用できるように、主体的に学習していきましょう。フィールドワークは、自分たちは学生であること、学習の一環であることを忘れず、真剣に取り組みましょう。

事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。

チェックリストを用いて自己評価を行ないながら技術練習していきましょう。指定された技術の動画を提出してもらい技術の到達度を確認します。